銭亀遺跡出土品

【所　　在　　地】熊毛郡南種子町中之上2420番地２　南種子町中央公民館
【種　　別】県指定有形文化財（考古資料）
【指 定 年 月 日】平成２７年４月１７日

銭亀遺跡出土品

銭亀遺跡は，種子島の南端，熊毛郡南種子町西之銭亀に所在する。遺跡は，標高約85mの河岸段丘上の緩やかに傾斜した台地に位置し，農免道路整備事業に伴い平成11年及び平成12年に一部が発掘調査された。

調査の結果，旧石器時代の細石刃核や細石刃が出土した。現在，種子島が我が国の細石器文化圏最南端の地域であり，銭亀遺跡はその南限の遺跡である。さらに，接合資料によりこの地域の旧石器人達の船野型細石刃核を製作する技術の理解が可能となり，他地域との技術の比較も可能となった。このように，本遺跡出土の旧石器時代関連遺物は，我が国の細石器文化圏最南端の様相を示す重要な資料である。